

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	森林保護事業			事業コード	0650
担当課等	所属名	農林部 林政課	担当係名		
	課長名	農林部 林政課	担当者名	林崎 衛	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 2項 1目 森林保全事業(004-01)	
	特記事項					
事業期間	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 不明年度～)		
事務事業の概要	森林火災防止や森林の公益的機能の保全を図るため、民有林の巡視及び市民への周知を行う。					
根拠法令等	森林法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
森林法改正により、市町村が民有林の指導管理を行うこととなり、森林保全体制の強化及び山火事防止に努めている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
平成10年度森林法改正により、民有林の適正管理が市町村の自治事務となった。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	民有林と市民(盛岡・都南地域)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 民有林面積(盛岡・都南地域)	単位	ha
				B. 民有林人工林面積(盛岡・都南地域)	単位	ha
				C. 市の人口(盛岡・都南地域)	単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 盛岡・都南地域において、民有林火防巡視人による山火事巡視活動や、業務委託による山火事防止広報活動、森林管理巡視員による民有林の巡視活動などを行った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 21年度にしないで松くい虫被害が確認され、22年度も被害が拡大している状況のため、盛岡・都南地域での巡視活動を強化する。民有林火防巡視人による山火事防止活動及び業務委託による山火事防止広報活動は継続して行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 民有林火防巡視人(盛岡・都南地域)の巡視延べ日数	単位	日
				B. 山火事防止広報業務(盛岡・都南地域)の活動日数	単位	日
				C. 森林管理巡視員(盛岡・都南地域)による巡視活動日数	単位	日
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・民有林において山火事が起きないようにする。 ・民有林が健全な状態に保たれる(適正に除間伐等が行われる)。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 森林火災件数(盛岡・都南地域) 【指標の性格:○ 上げる ● 下げる ○ 維持する】	単位	件
				B. 森林火災による被害面積(盛岡・都南地域) 【指標の性格:○ 上げる ● 下げる ○ 維持する】	単位	ha
				C. 施業が行われた民有林の面積(盛岡・都南地域) 【指標の性格:● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	ha
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha) 畑地面積(単位:ha) 樹園地面積(単位:ha) 民有林面積(単位:ha)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	民有林面積(盛岡・都南地域)	ha	27,807	27807	27807	27,807	27807	27807	24年度 27807
対象 指標B	民有林人工林面積(盛岡・都南地域)	ha	14,467	14467	14467	14,467	14,467	14,467	24年度 14,467
対象 指標C	市の人口(盛岡・都南地域)	人	284534	284360	284360	278921	279000	279000	24年度 284360
活動 指標A	民有林火防巡視人(盛岡・都南地域)の巡視延べ日数	日	240	280	280	168	280	280	24年度 280
活動 指標B	山火事防止広報業務(盛岡・都南地域)の活動日数	日	6	6	6	6	6	6	24年度 6
活動 指標C	森林管理巡視員(盛岡・都南地域)による巡視活動日数	日	76	76	76	86	86	86	24年度 86
成果 指標A	森林火災件数(盛岡・都南地域)	件	5	0	0	0	0	0	24年度 0
成果 指標B	森林火災による被害面積(盛岡・都南地域)	ha	3.47	0	0	0	0	0	24年度 0
成果 指標C	施業が行われた民有林の面積(盛岡・都南地域)	ha	641	431	600	355	600	600	29年度 700

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	2,356	2,332	2,332	2,082	2,293	2,293	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	2,356	2,332	2,332	2,082	2,293	2,293	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	2,356	2,332	2,332	2,082	2,293	2,293	*****
	延べ業務時間数	時間	240	240	240	240	240	240	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	960	960	960	960	960	960	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,316	3,292	3,292	3,042	3,253	3,253	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 巡視によって山火事防止に寄与するとともに、森林の現況を把握により、効率的な作業計画など、生産性の向上が図られる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 森林法により「全般的な民有林の適正管理」は、地方自治体が行うように定められている。また、森林の公益的機能の低下は、市民生活に直接及び間接的に影響を与えることが考えられる。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: すべての民有林を対象としているため、拡大・縮小の必要はない。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 山火事や森林現況に関する情報を、市から巡視人にこまめに伝えることにより、より効率的な森林保全巡視活動を行うことができる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 基本的に法定事務であり実施しないことはありえないが、適切な施策指導や山火事防止が行えなくなるため、森林火災の増加や森林の手入れが減少し、森林の消失や森林の公益的機能の低下により重大な災害を引き起こす恐れがある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現在の委託料は、標準的なものと比較して大分低く、さらに下げるには巡視回数を減らすしかない。また、人夫賃金の引き下げは、巡視人の意欲の低下を招く可能性がある。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 過去にさまざまな工夫で削減しており、余地はないと思われる。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: すべての民有林が対象であるため、受益機会は適正であるといえる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: この事業のための費用負担は直接的にはないが、森林の間伐促進のため、新しい県民税により、いわて環境の森整備事業が実施され、新たな受益者負担が発生している。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 山火事や森林現況に関する情報を、市から巡視人にこまめに伝えることにより、より効率的な森林保全巡視活動を行うことができる。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 予算の制約により、巡視回数の増加はできないが、引き続き各森林組合、巡視人への情報提供により、効率的な巡視を行っていく。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>山火事防止の巡視を継続しているが、近年は大きな山火事は発生していない。今後も「ゼロ」を目指して啓発活動を行う必要がある。また、一昨年に発生したマツクイ虫も発生範囲が広がっており、継続的な監視が必要となっている。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>現在、マツクイ虫対策の事業で被害木の除去を行っているが、今後、その被害状況にはよっては、さらに本事業の拡充を行う必要がある。</p>												